

# 令和5年度 第5回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日時 令和5年8月9日（水）午後6時30分～7時50分（1時間20分）
- 2 場所 呼人コミュニティセンター 多目的ホール
- 3 出席者 一般出席者 6人  
網走市出席者 13人（市長、教育長、企画総務部長、市民環境部長、建設港湾部長、健康福祉部長、新庁舎開設準備室長、新庁舎開設準備室次長、新庁舎開設準備室参事2人、企画調整課長、広報広聴係長、広報広聴係主事）  
町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）  
計 23人
- 4 議事進行 理事
- 5 進行記録  
18:30 開会  
18:31 市長あいさつ  
18:33 町連副会長あいさつ  
18:36 テーマ（1）高齢者等見守り支援事業について  
18:47 テーマ（2）高齢者等除雪サービスについて  
18:52 テーマ（3）新庁舎建設の進捗状況について  
19:03 その他  
19:47 市長あいさつ  
19:50 閉会

## 6 質疑など

---

### 【テーマ（1）高齢者等見守り支援事業について】

参加者	電球はどのくらい持つのでしょうか。切れた場合、いくら位するものなのでしょうか。
健康福祉部長	1年で切れたりするものではありませんが、一定期間経過すれば切れることもありますので、その場合はご負担いただくこととなります。今、金額をわかるものを持ってきていないのですが、数千円になります。

参加者	65 歳以上の一人暮らしが対象とのことですが、どのくらいの人数を予定しているのでしょうか。これに任せっきりにして様子を見に行かなくなっても困ると思っています。
健康福祉部長	予算としては 100 件程度を予定しており、現在のところ 40 件程度のお申し込みを頂いています。
参加者	滝川市では、毎日ヤクルトを届けて、安否確認をしています。夫婦 2 人世帯だと、1 人の死亡届が出て、ひとり暮らしになった時点で市の方から自動的に案内があると聞いています。今回のライトは、自動的に市から案内があるのでしょうか、それとも自分で申請しなければいけないのでしょうか。
健康福祉部長	自動的にということは考えてはいません。1 人お亡くなりになって、包括支援センターの方が心配だということで案内されて代理で申請することはあるかと思います。
参加者	私の町内会にも、一人暮らしの 90 代の方が 2、3 人いるのですが、どうやって話をすれば良いですか。
健康福祉部長	町内会から話をしてもらって、ご本人がつけたいということであれば、市役所に手続きに来るのが難しければ、町内会から市へ連絡をください。職員か包括支援センターが訪問して、手続きすることになります。

---

【テーマ（2）高齢者等除雪サービスについて】

質疑なし

---

【テーマ（3）新庁舎建設の進捗状況について】

質疑なし

---

【その他】

参加者	町内会の活動自体が衰退しています。役員のなり手がいません。連合町内会としても活動自体が難しくなっています。ただ、災害時には一番頼りになるのは隣近所の人。町内会の役割というのはやっぱり災害時にお互いが繋がっていることだと思います。 市として災害時に、町内会にして欲しいことは何なのか、町内会がしなきゃならないことは何なのか示して欲しいと思います。
-----	---

町連会長	<p>大変的を得たご質問をいただいたと思っています。市と町連では協定を結んでいて、災害時何をするのかを決めています。去年は市の協力を得て、セミナーも実施しました。</p> <p>阪神淡路大震災のときも、瓦礫の中から救助したのは、自衛隊でも、警察でもなく、地域の人だったという実例もあります。</p> <p>今、町内会がなくなっているところもありますが、災害時にどうするのか。地域の絆がどこにあるのか、試行錯誤しながら町内会の活性化を図っていきたいと思います。</p>
市長	<p>災害のときだけ発揮できる地域づくりは困難で、普段の活動がないと災害の時にも対応できないということだと思います。</p>
企画総務部長	<p>網走は災害が少ないため、まず防災意識を高めることが重要と考えています。今、避難訓練や、防災の研修に災害の専門家を呼ぶ場合などに利用できる補助制度を作っています。また、火災や消火が体験できる AR ゴーグルを3台購入しており、貸出できます。</p> <p>何を町内会にして欲しいかということですが、災害時には職員が避難所を開設しますが、大規模災害で連絡もとれないなど難しい場合に、地域の皆さんに、コミセンなどに避難所を開設していただきたいと考えています。今年、マニュアルを作成して、地域の皆さんに説明させていただければと考えています。</p> <p>また、9月9日に防災フェアとして、専門家の話や、炊き出し、段ボールベッドや備蓄品の展示などを実施する予定です。皆さんにはぜひ参加していただきたいと考えています。</p>
参加者	<p>小学生は網走で断水が起こったことも知らない。私自身もブラックアウトの時は、炊飯器しか使ったことがなかったので、ごはんの炊き方も知らなかったが、地域の方に教えてもらって炊けました。その時、厚手のビニール袋で調理できることも教えてもらいました。</p> <p>災害時に、自分たちで頑張れる子どもたちを育てることも必要かなと思います。</p>
市長	<p>ごはんの炊き方などは1回経験しないと難しい。防災訓練でも必要なことだと感じました。仮説トイレも和式なので、子どもたちがしゃがんで用を足せるかという難しい。生活様式にあった防災を考えていかないと役に立たないと感じました。</p>
企画総務部長	<p>防災教室を小学校で実施しているのですが、全部の小学校で実施できてはいません。また、実施していても、火が使えないなどの事情で、アルファ米などの水を入れたらできるもので済ませてしまっています。すぐには難しいですが、そうしたことも考えていきたいと思います。</p>

町連副会長	この春、いじめについての報道があり、市の方針など何かお話できることがあれば、お聞きしたいと思います。
教育長	(いじめ問題に対する市の今後の取り組みについて説明)
参加者	子どもたちが進学して網走に帰ってくる率は少ないのではと思っています。若い人がわざわざ網走市に住みたいと思える、定着する取り組みはどのようなものをしているのでしょうか。
市長	経済的な取り組みで言えば、今、保育園から中学校までの給食費は無料です。中学生までは所得制限なしで医療費は無料です。お子さんが生まれたときは、お祝い金やミルク、おむつ代を支援しています。保育料と幼稚園は国が出しているから無料。今、国の政策で東京から地方へのＩターン、Ｕターンは、引っ越し代程度の支給があります。また、小さいお子さんがいるご家庭向けの一軒家の子育て住宅を建てています。様々な経済的な負担の軽減はしているのですが、それが決め手となるかは別問題で、帰ってきたいというお子さんが、こういう仕事をしたいとか、こういう風に暮らしたいとか、一つひとつ洗い出しをして対処していかなければならないと思っています。
参加者	ニュースを見ると、子どもたちの夏休み、冬休みの給食がない時期の貧困格差が問題になっています。 子ども食堂は難しいと思うので、給食施設の中で、子どもたちを集めて、給食サービスができないのでしょうか。
教育長	学校の給食調理場に、子どもたちや私たちなどは、衛生管理上、入ることができませんが、例えば調理室のあるコミュニティセンターを利用したり、余っている食材を集めるなど、実態も調べながら、できることを検討していきたいと思っています。
参加者	先に提出していた第４町内会の要望について回答をもらったが、これで終わりということはないですね。
教育長	倒木の恐れのある樹木の件は、伐採の必要性を検討します。
建設港湾部長	法面の角度については、傷つけないように除雪いたします。道路の補修については、市内各地に老朽化が進んでいる道路がありますので、危険なところから順次整備いたしますので、ご理解いただきたいと思います。